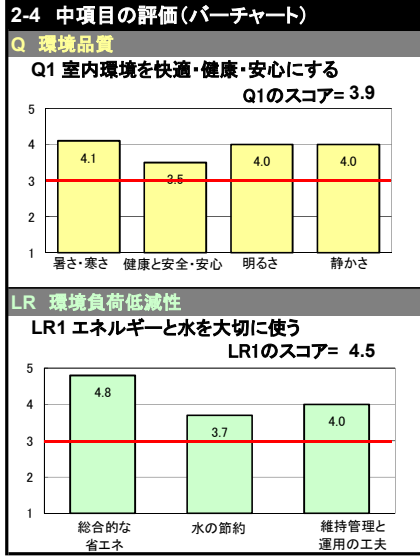
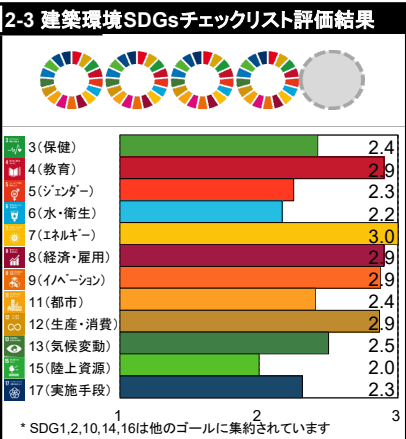
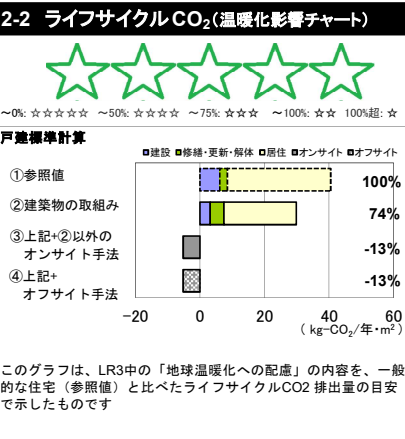
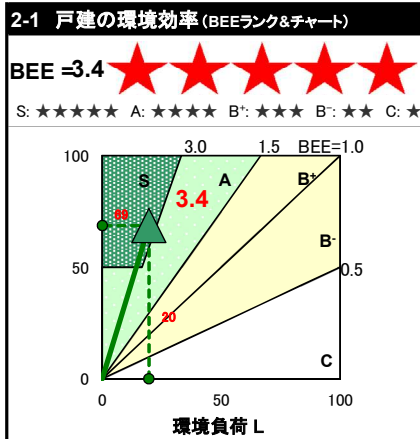


CASBEE®-戸建(新築)SDGs対応版 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建(新築) 2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-DH_NC_2021SDGs(v1.0)

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	-		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2024年11月	予定		持ち込み家電等	確定
建設地	-			外構の仕様	確定
用途地域	第一種中高層住居専用地域	確定	<備考>		
省エネルギー地域区分	7地域		サステナブル先導事業 環境効率 最高ランクS		
構造・構法	木造軸組工法	確定	評価の実施日		
階数	2		2024年9月26日		
敷地面積	176 m ²	確定	作成者		
建築面積	73 m ²	確定	阿多快渡		
延床面積	142 m ²	確定	確認日		
世帯人数	3	確定	確認者		



3 設計上の配慮事項

総合	その他
長期にわたり健康で安全で省エネルギーな居住です。	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 断熱性能をランクアップ外皮平均熱貫流率以上とし、快適な温熱環境を維持することで、健康に暮らせる住宅です。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 構造躯体・内外装材に、地域材の資源を活用し、住文化の継承につとめています。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 暖冷房設備・換気設備・給湯設備・照明設備を各物ごとに適切に組み合わせ創エネ設備を含め省エネ率30%を以上とし太陽光に依存しすぎないLCC住宅です。LCCO2 6項目については、特設の配慮をしています。また、HEMSを設置し消費エネルギーの確認のしやすさに配慮しています。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する 従前の土地を改変することなく、既存の自然環境の保全を行っています。また、騒音、振動、排気、排熱の低減、周辺温熱環境へも積極的な配慮が行われています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (環境品質)、L: Load (環境負荷)、LR: Load Reduction (環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)
 ■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE_h、Q_h、LR_hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
 ■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q_h2、LR_h1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)
 ■ライフサイクルCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「CO2計算」シートを参照されたい